Canon Satera LBP6600 かんたん設置ガイド

最初にお読みください。
ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

プリンターの設置を安全に行なうための注意事項は、裏面の「安全にお使いいただくために」に記載されています。 P.6
設置を始める前によくお読みください。

Step 1 設置準備

Step 2 梱包材を取り外して、設置場所に運ぶ

すべてのテープを取り外します。
以降の手順を行う際、オレンジ色のテープがプリンターに貼られているときは、すべて取り外してください。
梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

Step 4 電源コードとアース線を接続する

Step 5 プリンターの動作を確認する

Step 6 プリンターとコンピューターを接続する

RT5-0777 (000)

続いて、操作パネルでプリンターのIPアドレスの設定を行います。

※[戻る]キーを押すと、ひとつ前の階層へ戻ります。

IPアドレスの手動設定や、その他のプロトコルの設定（DNSやWINSなど）の設定手順は、本プリンターに付属のCD-ROM「User Software」に収められているe-マニュアル（HTMLマニュアル）に記載してあります。

CD-ROM「User Software」

ここではIPアドレスを自動（DHCP）で設定する手順で説明しています。

1. [セットアップ]キーを押して、[▲]、[▼]で「ネットワーク」を選択し、OK を押す
   メッセージが表示されたら、OK を押します。
2. [▲]、[▼]で「TCP/IP設定」を選択し、OK を押す
3. [▲]、[▼]で「IPv4設定」を選択し、OK を押す
4. [▲]、[▼]で[IPモード]を選択し、OK を押す
5. [▲]、[▼]で「自動」を選択し、OK を押す
6. [▲]、[▼]で「プロトコル」を選択し、OK を押す
7. [▲]、[▼]で「DHCPによるアドレス設定」を選択し、OK を押す
8. [▲]、[▼]で「オン」を選択し、OK を押す
9. プリンターの電源を入れなおす
   プリンターの再起動後に設定が有効になります。
   ※本製品が自動的にIPアドレスを設定します。約２分お待ちください。

Step 7 プリンタードライバーをインストールする

LIPS LXプリンタードライバーの特長

印刷データの処理をコンピューターとプリンターで負荷分散することによって、従来よりも高速で安定した印刷ができるほか、少ないメモリーでの動作が可能です。

USB接続でインストールするときは

USB接続の場合、インストールするプリンタードライバー（「LIPS LX」または「LIPSLX XPS」）の種類と、操作パネルの「ページ記述言語(PnP)」の設定が異なると、プリンタードライバーを使用できません。プリンターの操作パネルで「ページ記述言語(PnP)」の設定を行ってください。

「ページ記述言語(PnP)」の設定方法

1. [セットアップ]キーを押して、[▲]、[▼]で「拡張機能」を選択し、OK を押す
2. [▲]、[▼]で「ページ記述言語（PnP）」を選択し、OK を押す
   メッセージが表示されたら、OK を押します。
3. [▲]、[▼]で使用するプリンタードライバー（「LIPS LX」または「LIPSLX XPS」）を選択し、OK を押す
4. プリンターの電源を入れなおす
   プリンターの再起動後に設定が有効になります。

1. コンピューターの電源を入れる
2. 付属のCD-ROM「User Software」をセットする

3. クリック

以降、画面の指示にしたがって操作してください。

操作方法で不明な点があるとき

プリンタードライバーのインストール方法の詳細は、本プリンターに付属のCD-ROM「User Software」に収められている取扱説明書に記載してあります。

プリンターのセットアップが終了しました

ここまでの手順が終了すると、プリンターをお使いいただくことができます。

Option ペーパーフィーダーを取り付ける

プリンターとペーパーフィーダーを同時に設置するとき

ペーパーフィーダー

すべてのテープを取り外します。

以降の手順を行う際、オレンジ色のテープがペーパーフィーダーに貼られているときは、すべて取り外してください。

梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1. ペーパーフィーダーを箱から取り出す
2. プリンターとペーパーフィーダーの給紙カセットを引き出す

3. ペーパーフィーダーを設置場所に置く

両手で左右の運搬用取っ手を持って運んでください。

プリンター本体

4. プリンターを設置場所に移動する

運搬用取っ手にプリンター前面から手を掛けて運んでください。

5. プリンターをペーパーフィーダーの両側面や前面に合わせてゆっくりと載せる

プリンターを載せるときは、位置決めピンやコネクタも合わせてください。

ペーパーフィーダーをあとから設置するとき（プリンターをすでに使用しているとき）

1. コンピューターの電源を切る
2. プリンターの電源を切り、接続されているケーブルやコードを取り外します

OFF

USBケーブル*

LANケーブル*

* 接続の有無は、お使いの環境によって異なります。

電源コード

① 電源プラグを抜く
② アース線を取り外す
③ プリンターから抜く

OFF

続いて、次の手順にそって作業を進めます

プリンターとペーパーフィーダーを同時に設置したとき

1. 用紙をセットする P.2
   プリンター本体に標準の給紙カセットの手順を参考に、ペーパーフィーダーにも用紙をセットしてください。
2. 電源コードとアース線を接続する P.3
3. プリンターの動作を確認する P.3
4. プリンターとコンピューターを接続する P.3、4
5. プリンタードライバーをインストールする P.4

ペーパーフィーダーをあとから設置したとき（プリンターをすでに使用しているとき）

1. プリンターの給紙カセットをセットする
2. 用紙をセットする P.2
   プリンター本体に標準の給紙カセットの手順を参考に、ペーパーフィーダーに用紙をセットしてください。
3. ケーブルやコードを接続する
   取り外したケーブルやコードを接続しなおしてください。

⚠ 安全にお使いいただくために

本書では設置と電源の警告や注意のみを記載しております。必ず本プリンターに付属の CD-ROM「User Software」に収められている e- マニュアル（HTML マニュアル）で記載されている「安全にお使いいただくために」もあわせてお読みください。

CD-ROM「User Software」

マークについて

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

設置について

⚠ 警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。
  - アクセサリーなどの金属物
  - コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器

  これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
  製品内部に入った場合は、直ちにプリンターとコンピューターの電源をオフにし(1)、インターフェイスケーブルを接続している場合は、インターフェイスケーブルを抜いてください(2)。そのあと、電源プラグを抜いて(3)、アース線を取り外し(4)、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- オプション品の取付け／取外しを行うときは、必ずプリンターの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンターに接続されているすべてのインターフェイスケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインターフェイスケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠ 注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - 湿気やホコリの多い場所
  - 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - 雨や雪が降りかかるような場所
  - 水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 高温になる場所
  - 火気に近い場所
- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インターフェイスケーブルを接続する場合は、e-マニュアルの指示にしたがって正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- メインボードの取り扱いには注意してください。メインボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、e-マニュアルの指示にしたがって正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因になることがあります。

電源について

⚠ 警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 電源コードが引っ張られた状態にしないでください。電源プラグが緩んで接続が不完全になると発熱し、火災の原因になることがあります。
- 電源コードを踏みつけたり、ステイプルなどで固定したり、重いものをのせたりしないでください。コードがいたみ、そのままご使用を続けると、火災や感電などの事故の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 電源コネクタが接続される製品の差込口にストレスが強くかかると、製品の内部で断線や接触不良が発生し、故障の原因になります。また、火災の原因になる場合もあります。以下のような取り扱いは避けてください。
  - 電源コネクタを頻繁に抜き差しする
  - 電源コードに足を引っ掛ける
  - 電源コードが電源コネクタ付近で曲げられ、製品の差込口に継続的なストレスがかかっている
  - 電源コネクタに強い衝撃を加える
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。万一漏電した場合は感電の恐れがあります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してもよいもの]
  - 電源コンセントのアース線端子
  - 接地工事（D種）が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]
  - 水道管･･･　配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
  - ガス管･･･　ガス爆発や火災の原因になります。
  - 電話線のアースや避雷針･･･　落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

⚠ 注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。